

飯南町総合振興計画等評価委員会

第2部会

＜事業名＞

- ・子ども、子育て支援対策事業
- ・育児等健康支援事業(妊婦健診。特定不妊治療等)
- ・子ども等医療費助成事業(義務教育まで医療費の無料化)
- ・保育料軽減事業
- ・出会い創出事業
- ・少子化対策総合支援事業
- ・飯南高校教育支援事業
- ・学習支援館運営事業
- ・特定事業主行動計画
- ・保健衛生総務経常管理費
- ・定住等総合支援事業(医療従事者・介護福祉士確保対策)
- ・地域包括支援センター運営事業
- ・来島福祉総合相談窓口
- ・生活困窮者自立相談支援事業
- ・障がい者地域生活支援事業

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり											
	総合戦略 1-3 女性の出産・子育ての希望をかなえる											
事業名	子ども子育て支援対策事業											
事業概要 (計画P)	女性が自らの希望するライフスタイルで生活できるよう、公共、地域、家族、企業による出産・子育てのサポート環境を整備するとともに、出産・子育てに際しての経済的な不安の軽減を目的に事業を行う。											
実施内容 (実施D)	・イクメン育成事業(保育所での父親による絵本・紙芝居の読み聞かせ) ・病児保育充実事業(検討会議の開催) ・ほっと。Café事業(保健師・保育士による相談及び指導) ・ファミリーサポートセンター事業(施設整備) ・夏休み居場所づくり事業(赤名小学校で児童クラブ開設)											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:子どもがいる世帯数											
	KPI:5年後に370世帯											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	354	327				370					
	達成率		88.4%									
	②目標事項:子どもが3人以上いる世帯数											
	KPI:5年後に110世帯											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	92	76				110					
	達成率	—	69%									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	ファミリーサポートセンター事業では来島保健センターの施設整備を行い、延べ23名の利用があった(前年度延べ1名)。また、利用者補助金の制度を設け、保護者の経済的負担の軽減を図った。									
		B										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		病児保育充実事業については、関係者と実施に向けた協議をおこなう。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策		総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり							
		総合戦略 1-3 女性の出産・子育ての希望をかなえる							
事業名		育児等健康支援事業							
事業概要 (計画P)		・妊娠期から母子ともに健康管理を徹底するために妊婦、乳児一般健康診査を医療機関委託で実施する。妊婦健診については、助成14回を継続し、子育て支援対策としての経済的負担の軽減と健診受診の徹底を図る。 ・子どもの頃から良い生活習慣の確立のために子育て食講座を継続し歯と口の健康と食生活(調理実習)を中心に学ぶ場を設定する。また、町内の歯科医、保育所、学校と連携し継続した保健指導を行う。 ・子どもの正常な発達発育を促す関わりを保護者が楽しく学べる場を継続する							
実施内容 (実施D)		医療機関委託健診 妊婦受診29名(受診率80%)、乳児受診17名(受診率100%) 乳児集団健診42名、育児相談42名 不妊治療 一般:開始2件、特定:開始2件 相談1件 歯科保健事業実施(歯科検診(子110名、保護者50名)、フッ素塗布(94名)、洗口(410名))							
目標数値 ・進捗状況		①目標事項:子どもがいる世帯数							
		KPI:5年後に370世帯							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
		数 値	354	327				370	
		達成率		88.4%					
		②目標事項:子どもが3人以上いる世帯数							
		KPI:5年後に110世帯							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
		数 値	92	76				110	
		達成率	—	69%					
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】							
		担当課 評価	・育児支援事業については、回数、内容とともに充実してきている。個別支援が必要な方などは参加されないことがあるので、個別に支援している。 ・近年様々な個別支援ケース対応があり、他職種で継続して関わっていく必要がある。 ・不妊治療については、パンフレットを作成し、PRが充実した。又、個別相談により新たなニーズを把握できた。						
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】							
		・関係機関との連携による継続的な支援が可能な体制づくりの検討 ・不妊治療費補助金制度の拡充							
	委員会 意見	【評価等に対する意見】							
委員会 評価									

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり											
	総合戦略 1-3 女性の出産・子育ての希望をかなえる											
事業名	子ども等医療費助成事業(義務教育終了まで医療費無料化)											
事業概要 (計画P)	出生から中学校卒業までの ・子ども等の疾病の早期発見及び早期治療の促進 ・子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減 ・健全な育成及び安心した子育てができる環境づくりの推進											
実施内容 (実施D)	医療費の無料化											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:子どもがいる世帯数											
	KPI:5年後に370世帯											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	354					370					
	達成率		0.0%									
	②目標事項:子どもが3人以上いる世帯数											
	KPI:5年後に110世帯											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	92					110					
	達成率	—	0%									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	子どもを持つ親にとって子どもの元気な成長が一番の願いであり、医療費の無料化は、町として安心して子育てのできる環境整備の重要な政策の一つと考える。県内の他市町村も同様に医療費の無料化を実施しているところが多くあり、浸透している制度である。									
		A										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		現状どおり実施										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり											
	総合戦略 1-3 女性の出産・子育ての希望をかなえる											
事業名	保育料軽減事業											
事業概要 (計画P)	女性が自らの希望するライフスタイルで生活できるよう、公共、地域、家族、企業による出産・子育てのサポート環境を整備するとともに、出産・子育てに際しての経済的な不安の軽減を目的に事業を行う。											
実施内容 (実施D)	保育料を国基準の半額、第2子半額免除、第3子全額免除とする。											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:子どもがいる世帯数											
	KPI:5年後に370世帯											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	354	327				370					
	達成率		88.4%									
	②目標事項:子どもが3人以上いる世帯数											
	KPI:5年後に110世帯											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	92	76				110					
	達成率	—	69%									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	保育料を国基準の半額、第2子半額免除、第3子全額免除とし、さらに県が実施する第1子・第2子に係る保育料軽減事業を活用し3歳未満の第1子・第2子の保育料を独自に軽減する計画を行った。									
		A										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		D3階層までの3歳未満の第1子・第2子の保育料を無料化し、保護者の経済的負担の軽減を図る。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり 2-4 生涯学習の充実											
	総合戦略 1-1 結婚への意識を高める 1-2 結婚の希望をかなえる											
事業名	出会い創出事業											
事業概要 (計画P)	若者が集い、同年代の交流の輪を広げるためのイベントなどを開催し、結婚への意識を醸成する。 出会いの機会を創出するとともに、結婚に際しての経済的な不安の軽減を目的に事業を行う。											
実施内容 (実施D)	・公民館が連携した「若者交流イベント」事業(2回開催)											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項: 婚活イベント参加者数											
	KPI: 5年後に40人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	30	43				40					
	達成率	—	107.5%									
	②目標事項: 交流イベント参加者数											
	KPI: 5年後に50人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	18	43				50					
	達成率	—	86.0%									
	③目標事項: 婚姻数											
	KPI: 5年後に20組(H27-31の平均値)											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	14	13				20					
	達成率	—	65%									
平成 27 年 度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	・公民館主催によるイベントで初めて成婚に至った(1件)									
		B										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		結婚・出産祝い事業の実施。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する 5

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり 2-4 生涯学習の充実											
	総合戦略 1-1 結婚への意識を高める 1-2 結婚の希望をかなえる											
事業名	少子化対策総合支援事業:地方創生先行型											
事業概要 (計画P)	若者が集い、同年代の交流の輪を広げるためのイベントなどを開催し、結婚への意識を醸成する。											
実施内容 (実施D)	・縁結び支援員事業(縁結び支援員1名配置) ・婚活アドバイザーとして、東京の板本洋子氏に仲人組織の立ち上げ及び仲人の育成・婚活イベントの効果的な開催方法について指導を受けた。 ・ご縁の会事業(立ち上げ、会議の開催、お見合いの実施)											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:婚活イベント参加者数											
	KPI:5年後に40人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	30	43				40					
	達成率	—	107.5%									
	②目標事項:交流イベント参加者数											
	KPI:5年後に50人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	18	43				50					
	達成率	—	86.0%									
	③目標事項:婚姻数											
	KPI:5年後に20組(H27-31の平均値)											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	14	13				20					
	達成率	—	65%									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	・縁結び支援員配置により個々の相談に柔軟に対応できる体制ができた。 ・東京の板本洋子氏に他多面的なアドバイスを受け、効果的に事業を実施した。 ・ご縁の会立ち上げ。仲人育成研修の開催や、仲人相互の情報交換等があり、お見合いを開催する仲人もあった。									
	改善 (A)	C										
		【28年度における取り組みなど】										
	委員会 意見	(予算)出会い創出事業へ統合										
		【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価 A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-2 保小中高が連携した学校教育の充実											
	総合戦略 4-2 田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり											
事業名	飯南高校教育支援事業											
事業概要 (計画P)	飯南高校の存続を目的に、入学者を確保していくため、特色ある教育、生徒募集などの支援を行い、飯南高校の魅力化の推進を図る。											
実施内容 (実施D)	①教育環境の充実、生徒募集活動 ・教育活動支援事業(部活動支援、非常勤講師配置、特色ある教育の推進等) ・通学支援(スクールバス運行、通学定期助成等) ・生徒確保広報(しまねUIターンフェア、出身校訪問等) ②町内生を増やす ・山村家族留学の検討 ・保小中高一貫教育の充実による教育ブランドの確立											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項: 飯南高校生徒数											
	KPI: 180人以上の生徒数を確保											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	188	197	203			180					
	達成率	—	109.4%	112.8%								
	②目標事項:											
	KPI:											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値											
	達成率	—	#DIV/0!									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	魅力化の推進の結果は卒業生アンケート等が必要で数値化はできていないが、目標指標である生徒数に関しては、達成率約110%となり効果的な取組みとなっている。									
	改善 (A)	A										
		【28年度における取り組みなど】										
	委員会 意見	生徒募集に関しては、寮定員(56名)を考慮しつつ、近隣5中学校(掛合、吉田、邑智、大和、志学)を中心とした募集活動を継続する。並行して、県外生枠(定員の20%16人)については、推薦制度の特徴を活かし、町内生に好影響を与える質の高い生徒の確保に努める。 魅力化についてはアンケート等を実施するなど進捗、保護者・生徒等への影響や効果を把握・検証する。										
		【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-2 保小中高が連携した学校教育の充実							
	総合戦略 4-2 田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり							
事業名	学習支援館運営事業							
事業概要 (計画P)	将来この地域を担う人材の育成をめざして、町営による塾(学習支援館)の事業を行い、家庭学習の習慣化と学習意欲・学力の向上を図る。 また、町内にある県立飯南高等学校の存続をめざして、町営塾により学習支援を行なうことで、飯南高校の魅了化を図っていく。							
実施内容 (実施D)	○町営塾の運営 … (株)山進への委託により運営 利用者(中学生)31名(H28.6現在) … 自主学習の支援 利用者(高校生)32名(H28.6現在) … 自主学習の支援と授業形式による学習支援							
目標数値・進捗状況	①目標事項:飯南高校生徒数							
	KPI:180人以上の生徒数を確保							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数 値	188	197	203			180	
	達成率	—	109.4%	112.8%				
	②目標事項:							
	KPI:							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数 値							
	達成率	—	#DIV/0!					
平成27年度	評価(C)	担当課評価	飯南高校支援の面においては生徒数の確保ができており、一定の成果が出ているといえる。					
		C	学習意欲や学力向上の面からは、設立して5年を経過したところで、徐々に成果はあがってきているものの、まだまだ十分ではないと思われる。					
	改善(A)	【28年度における取り組みなど】						
		飯南高校生徒数の確保を第一の目標にスタートした事業ではあるが、保小中高一貫教育の取り組みの中で、中学生の学力低下に対する対策として、新規の講座(夏期講習)も行うこととし、中学生の家庭学習と高校受験への支援を強化する取り組みを行なう。						
	委員会意見	【評価等に対する意見】						
委員会評価								

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 2-5 平等に暮らせる社会づくり													
	総合戦略													
事業名	特になし 特定事業主行動計画													
事業概要 (計画P)	飯南町特定事業主行動計画に基づき、仕事と子育ての両立を図ることができる職場環境の整備に向けた取組みと、「女性活躍推進法」に基づき、女性の職業生活における活躍と良好な職場づくりを行う。													
実施内容 (実施D)	目標とする数値は、教育委員会・農業委員会・監査委員・選挙管理委員会・固定資産評価委員・議員・民生委員などであり、平成27年度でも変更は無かったが、総合振興計画・総合戦略などの策定委員など女性の意見を取り入れやすい環境をつくる。													
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:女性の登用率													
	KPI:女性の登用率を5年後に30%以上													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	24%	24%				30%							
	達成率	—	80.0%											
	②目標事項:													
	KPI:													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値													
	達成率	—												
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】												
		担当課 評価	平成27年度は、総合振興計画・総合戦略の策定では、女性率33.3%という状況。飯南町役場の管理職女性登用率は、H27 22.6%、H28 24.2%。女性が活躍しやすい職場環境を作り、行政への意見が反映しやすい環境づくりを進めた。											
	改善 (A)	C												
		【28年度における取り組みなど】												
	委員会 意見	より女性の意見が政策に反映できるよう、住民と行政にて行う委員会等では開催の時期や時間など配慮を行っていく。												
		【評価等に対する意見】												
		委員会 評価												

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 4-1 健康づくりの推進													
	総合戦略 4-1 安心して長生きできる環境づくり													
事業名	保健衛生総務経常管理費(地域での健康づくり活動の支援、検診受診率の増加)													
事業概要 (計画P)	・保健地区活動につなげるため、過去の健診のデータ処理・整理と分析を行う。 ・地域での健康づくり活動(サロン、教室など)の支援、底上げを図る。 ・人と人とのつながりを構築し健康に関する地区診断を実施し、健診受診率の増加を図り地区の健康増進を図る。													
実施内容 (実施D)	受診率向上に向けた取り組みとして、受診率が高かった地域を表彰することにより、地域内で健康意識を高めた。 公民館単位で地域の方と地域活動評価シートを基に健康づくりに関する意見交換会を実施した。													
目標数値・進捗状況	①目標事項:特定健診の受診率													
	KPI:受診率を5年後に65%													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	45%	48%				65%							
	達成率	—	73.8%											
	②目標事項:健康寿命													
	KPI:健康上の問題が無い状態で日常生活を送れる期間の延長													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数値(男)	81.77					82.50							
	達成率	—												
	数値(女)	85.42					86.19							
	達成率	—												
	結果が2年後となるため毎年度調査不可													
平成27年度	評価 (C)	【27年度評価】												
		担当課 評価	高受診地域の表彰により、自分の地域の受診率に関心を持ってもらうことができたが、受診率の算出方法の周知が不十分であった。 精検者への受診勧奨に対して工夫が必要であった。											
		C												
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】												
		自治会への回覧文書やCATVを活用して、周知を行う。 近年様々な個別支援ケース対応があることから、多岐にわたる支援を検討する。												
	委員会意見	【評価等に対する意見】												
		委員会 評価												

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 4-2 地域医療の充実											
	総合戦略 4-1 安心して長生きできる環境づくり											
事業名	医療従事者確保対策事業、定住等総合支援事業：地方創生先行型											
事業概要 (計画P)	飯南病院又は町内の医療機関若しくは福祉施設の医療等関係従事者の確保及び充実を図ることを目的として、医療又は福祉関係に従事する意思のある医学生等に対し助成することにより、飯南町の医療又は福祉環境の充実を図り、町民の福祉の向上を図ることを目的とする。											
実施内容 (実施D)	【助成金(継続)】 医学生：1名、看護学生：2名 【助成金(新規)】 医学生：1名、歯科医学生：1名、看護学生：1名 【就業支度金】 看護師：3名											
目標数値・進捗状況	①目標事項：飯南病院・来島診療所の常勤医											
	KPI：医師確保をし5年後に8名体制											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	6	6				8					
	達成率	—	75.0%									
	②目標事項：訪問件数(訪問看護・訪問リハビリ)											
	KPI：訪問件数を5年後に300件/月											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	230	209				300					
	達成率	—	70%									
	③目標事項：医療・福祉・介護職人材数											
	KPI：医療・福祉・介護職人材を5年後に550人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数値(女)	525	507				550					
	達成率	—	92%									
平成27年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	制度開始から5年が経過し、職種によっては一定の人材確保ができています。H27は医師など3名の新規応募があったものの町内で不足している介護福祉士の応募がなかった。									
		B	看護師については、支度金制度の見直しを行い、対象者の拡充を図った。									
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		制度開始当時とは、病院の体制も変わってきており、職種の見直しや条件の見直しを検討する必要がある。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A：極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B：想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C：想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D：想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E：効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する 11

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 4-3 地域福祉の充実													
	総合戦略													
事業名	地域包括支援センター運営事業													
事業概要 (計画P)	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に設置。総合相談・権利擁護事業、包括的・継続的マネジメント事業、介護予防事業に加え、認知症対策、地域包括ケアシステムの構築なども進めていく。													
実施内容 (実施D)	保健師、社会福祉士、理学療法士、認知症地域支援推進員と専門職を配置し、住民の生活や保健福祉医療に関する幅広い相談に対応していく。保健福祉課、福祉事務所、飯南病院、町内事業所等関係機関との連携を一層密にし、住民が安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築を目指している。													
目標数値 ・進捗状況	①目標事項：地域包括支援センターへの総合相談数													
	KPI：相談件数を5年後に300件/年													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	200	266				300							
	達成率	—	88.7%											
	②目標事項：													
	KPI：													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値													
	達成率	—												
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】												
		担当課 評価	総合相談、包括的・ケアマネジメント、認知症対策は継続できている。介護予防事業については、前期高齢者の段階から介護予防についての啓発、運動の普及など積極的に進めている。地域のサロンへも出前講座として行っている。認知症地域支援専門員を配置し決め細やかな対応を行えている。飯南病院と協働し地域ケア会議を開催している。											
		A												
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】												
		介護予防事業については、「飯南町長生き体操」を考案し、効果検証を行い、各地域で気軽に体操に取り組んでもらえるように事業を展開していく。認知症対策については、認知症初期集中支援チームの立ち上げを行う。平成29年4月からの総合事業への移行という大きな転換期の前年となるので、準備、住民周知等を図っていく必要がある。												
	委員会 意見	【評価等に対する意見】												
		委員会 評価												

※評価A：極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B：想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C：想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D：想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E：効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 4-3 地域福祉の充実											
	総合戦略											
事業名	来島福祉総合相談窓口業務											
事業概要 (計画P)	来島保健センター閉鎖後赤来地区には介護保険などの相談を受ける窓口が無く、保健福祉センター(頓原)まで出向いてもらうなど住民に負担があった。地域包括支援センターの機能強化、赤来地区の住民の利便性を図るため、飯南町社会福祉協議会内に来島福祉総合相談窓口(ランチ)を設けている。											
実施内容 (実施D)	飯南町社会福祉協議会の介護支援専門員資格を持つ職員が対応している。相談があった場合、包括支援センターに報告があり、連携を図っている。											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項: 地域包括支援センターへの総合相談数											
	KPI: 相談件数を5年後に300件/年											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	200	266				300					
	達成率	—	88.7%									
	②目標事項:											
	KPI:											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値											
	達成率	—										
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	相談事例についての対応、包括支援センターへのつながりはスムーズにできている。									
		B										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		これまでの対応を継続していく。平成29年4月から総合事業への移行があるので、ランチでも対応ができるように打ち合わせ等を行っていく。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 4-3 地域福祉の充実													
	総合戦略													
事業名	生活困窮者自立相談支援事業													
事業概要 (計画P)	平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、これまで十分に対応することが出来なかった生活保護に至る前の生活困窮者を対象とし、経済的課題に関する包括的な支援や就労に関する支援を行うことにより、生活困窮者の自立促進を図ることを目的とする事業。													
実施内容 (実施D)	本町は生活困窮者自立支援法の必須事業である自立相談支援事業と住宅確保給付金支給を行っている。 ○自立相談支援事業 対象者：生活に困りごとや不安を抱えている方を対象とする。 事業内容：支援員が相談を受け、支援プランを作成し自立に向けた支援を行う。 ○住宅確保給付金支給 対象者：離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方を対象とする。 事業内容：就職活動をすることを条件に、一定期間、家賃相当額を支給し生活の土台となる住居を整えた上で、就職に向けた支援を行う。													
目標数値・進捗状況	①目標事項：地域包括支援センターへの総合相談数													
	KPI：相談件数を5年後に300件/年													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	200	266				300							
	達成率	—	88.7%											
	②目標事項：													
	KPI：													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値													
	達成率	—												
平成27年度	評価 (C)	【27年度評価】												
		担当課 評価 C	平成27年度の実績としては、自立相談支援事業の利用者は4名、住宅確保給付金支給事業の利用者は2名であった。就労に結び付いたケースも2件、2名であった。本町の住民に対し、制度が十分に周知されていないことが課題となった。											
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】												
		平成27年度同様、必須事業である自立相談支援事業、住宅確保給付金支給を行う。主な関係機関である飯南町社会福祉協議会との連携体制の構築や、広報誌等での周知の徹底、相談窓口である福祉事務所での丁寧なアセスメントとフォロー体制の充実を目標とする。												
	委員会 意見	【評価等に対する意見】												
		委員会 評価												

※評価 A：極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B：想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C：想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D：想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E：効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第2部会

基本施策	総合振興計画 4-4 高齢者などにやさしい環境づくり													
	総合戦略													
事業名	障がい者地域生活支援事業													
事業概要 (計画P)	障がい者に対し、共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な介護、援助及び相談等の日常生活上の支援を行うとともに、短期間の入所に係る介護等の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図るため、共同生活施設を設置する。													
実施内容 (実施D)	町内に障がい者の共同生活施設を設置する。 共同生活を行う住居の整備等を予算の範囲内で補助し、障がい者の地域移行を促進する。 補助基準額(改修:10,000千円、新築:25,000千円)													
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:共同生活援助施設数(グループホーム)													
	KPI:5年後にグループホームを3か所に													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	2	2				3							
	達成率	—	66.7%											
	②目標事項:													
	KPI:													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値													
	達成率	—	#DIV/0!											
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】												
		担当課 評価	平成27年度に新たに設置された共同生活施設は0であった。 ○利用者の状況 ・赤名あゆみ園(赤名GH)の利用者数:4人/6人定員中 ・ピアハウスあすなろ(頓原GH)の利用者数:6人/7人定員中											
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】												
		平成27年度中は、両GHとも定員に達しておらず、町内の利用ニーズを考慮すると新たに設置する必要性は少ないと思われるため、平成28年度は現状維持とする。												
	委員会 意見	【評価等に対する意見】												
		委員会 評価												

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する